



about Australia

オーストラリアの国民、文化、生活様式

- オーストラリアの政治制度は、自由民主主義の伝統に基づいています。宗教上の寛容、言論と自由、法の支配などの価値を重んじたオーストラリアの政治制度と慣行は、イギリスと北米を模範にしたものです。それと同時に、オーストラリアの制度には独自の特徴があります。

オーストラリアの多様な文化や生活様式は、その自由民主主義的な伝統と価値観やアジア太平洋地域への地理的な隣接、第二次世界大戦以降にオーストラリアへ移住した、何百万人ももの移民の社会的・文化的な影響などを反映しています。

オーストラリアは、古くから受け継がれた伝統と新しく入ってきた文化の影響が、比類なく融和している国です。オーストラリア本来の住民であるアボリジニとトレス海峡島しょ民は、世界でも最古に属する文化の伝統を守ってきました。この先住民たちは、少なくとも4万年、恐らくは6万年も前から、オーストラリアに住んでいます。

オーストラリアのその他の人々は、1788年イギリスがシドニー・コーブにヨーロッパ人最初の植民地を開いて以来、およそ200の国々からオーストラリアへやってきた移民かその子孫たちです。

1945年には、オーストラリアの人口はおよそ700万人で、その大部分はアングロ・セルティック（アングロサクソン系とケルト系の人たち）でした。その後、675,000人の難民を含む、650万人以上がオーストラリアに定住し、国の社会・文化的な側面が大幅に拡張されました。

現在オーストラリアの人口は、2,100万人を超えています。その43パーセント以上は、自分自身あるいは両親の一人が海外で生まれた人たちです。先住民の人口は483,000人で、総人口の2.3パーセントを占めると推定されています。

主要な事実

- 1945年以来、650万人以上の移民がオーストラリアに定住しました。
- 英語は公用語ですが、他の言語も尊重されています。
- オーストラリアは、主としてキリスト教徒の国ですが、人々は自分の選ぶどのような宗教でも信仰は自由です。
- オーストラリア人のおよそ88パーセントは、毎年少なくとも1回は文化的な行事に出かけています。
- 15歳以上のオーストラリア人1,100万人以上が、スポーツや身体を動かす運動をしています。
- オーストラリアは、世界でも最も多彩な食べ物の味わえる国の1つですが、国を代表するような料理はありません。

1945年以降にオーストラリアへ来た多くの人たちの動機は、家族に対する約束や貧困、戦乱、迫害などから逃れようとする願いからでした。移民や難民が最初に大挙やって来たのは、ほとんどがヨーロッパからでした。その後、アジア太平洋地域や中東、アフリカなどからやって来ました。

移民は、ビジネス、芸術、料理、娯楽、科学、スポーツ等々、ほとんどあらゆる面で、オーストラリア人の生活を豊かにしました。

共有する価値観

今日のオーストラリアを大きく特徴付けているのは、国民の文化的な多様性だけではなく、国家に対して最優先する求心力で強く結ばれている団結の強さです。

すべてのオーストラリア人は、法の枠組みの中で、各自の文化と信条を表現し、国民生活に自由に加われる権利を持っています。

同時に、すべての人々には、次のようなオーストラリアの生活様式を支える原則や、共通の価値観を守ることが求められています：

- 個人の平等な価値、尊厳、自由に対する尊敬
- 言論と結社の自由
- 信仰の自由と宗教に関係のない政府
- 議会制民主主義と法の秩序に対する支持
- 法の下での平等
- 男女の平等
- 機会の均等
- 平和であること
- 寛容、相互尊重、困窮者に対する同情を信奉する平等主義の精神。さらにオーストラリアは、出生国、文化的背景、言語、性別、信仰などの理由では、いかなる人も不利益を被らないという信条を固く維持しています。

平等主義の社会

極めて現実的な面で、オーストラリアは平等主義の社会です。しかしこのことは、すべての人が同様であるとか、平等な富や財産を持つことを意味するものではありません。

その代わりに、他の国では見られることもある、形式的、あるいは固定化した階級的な差別が、オーストラリアの社会には存在しないことを意味しています。さらにそれは、高い地位の人と関係がなかったり、影響力のある後援者がいない人でも、よく働き、強い決意さえあれば、自分たちの大きな望みを実現させることが可能

なことも意味しています。

失業率は比較的 low (2007 年 12 月現在 4.3 パーセント)、国民一人当りの総収入はおおよそ 39,000 豪ドルです。オーストラリアではすべての人は法の下で平等で、あらゆるオーストラリア人には公正に尊敬され、扱われる権利があります。

典型的なオーストラリア人とは？

今日のオーストラリアには多様な特質があるので、「典型的な」オーストラリア人などいるのだろうか？と疑問視する人がいます。もちろん、人々のタイプは様々で、互いに相反している場合もあります。

例えば、オーストラリア人を、平等主義で権威に対して深い疑惑を抱いた非礼な者とする人もいれば、大部分が法に従い、遵法者であるとさえ見る人もいます。

人によっては、特に海外の人は、オーストラリア人が、主として地方、国内の奥地や未開の土地に住んでいるのだと思込んでいます。実際は、オーストラリア人の 75 パーセント以上が中心的な都市、主に海岸沿いの州都で、都会生活を営んでいるのです。オーストラリア人を、幸運の国「ラッキー・カントリー」に住み、レジャーと特にスポーツを、観たりあるいは実際にしたりするのが好きな国民と思っている人もいます。しかし実際は、オーストラリア人は世界で最も勤勉な人たちに属し、先進国の中でも最も就労時間の長いこともあるのです。

その他オーストラリア人について、形式張らず開放的で、単刀直入、思ったことを率直に言う人たちだという共通した認識もあります。また、オーストラリア人は、人々を公平に扱い (オーストラリアでは fair go という)、仲間 (mates) や恵まれぬ人、弱い者を助けるといった信念を持った人たちであるとも見られています。

こうした一般的な印象の多くはある程度真実で、オーストラリア人の大部分がそのいくつかに当てはまります。しかし、オーストラリア人は、どの国の人たちとも同じで、そう簡単には型にははめられません。「典型的な」オーストラリア人は至るところにいるのです。しかし彼らの全部が同じではありません。

言語

オーストラリアのすべての人には、公用語であり、オーストラリアの社会を統合する重要な要素である、英語の学習を勧めています。

しかし、英語以外の言葉も尊重されています。

事実、オーストラリア人の 15 パーセント以上が、家では英語以外の言葉で話しています。英語に次いで最も一般的に話されている言葉は、イタリア語、ギリシャ語、広東語 (中国)、アラビア語、ベトナム語、マンダリン語 (標準中国) です。オーストラリア人は、先住民の言葉を含めて、200 以上の言語を話しています。

オーストラリア英語

英語はオーストラリアの公用語ですが、用法上オーストラリア特有と見られるようになった特別の単語や表現があります。オーストラリア人以外には、奇妙に聞こえるものがあるかも知れません。

こうした日常会話や俗語的な言葉の使い方は、しばしば皮肉や無礼が特徴のオーストラリア人のユーモアのセンスと一緒に、外国からの訪問者を戸惑わせることがあります。オーストラリアの日常会話や俗語に関しては、Macquarie Book of Slang を含め、数多くの出版物があります。

宗教の信仰

オーストラリアは主としてキリスト教徒の国で、国民のおよそ 64 パーセントがクリスチャンです。しかし、オーストラリアが文化的に多様な社会であることを反映して、それ以外でも主要な宗教は信仰されています。

オーストラリアの最も古い宗教、あるいは精神的な信仰は、4 万年から 6 万年にもわたってオーストラリアに住んでいる、先住民とトレス海峡島しょ民の信仰に遡ります。先住オーストラリア人たちは、独自の宗教的な伝統と精神的な価値観を持っています。

オーストラリアに国教はなく、法に反しない限り、自分たちの選ぶどのような宗教でも信仰は自由です。さらに、オーストラリア人には宗教を信じない自由もあります。

活気のある芸術

オーストラリアでは、もともとの先住民の文化的伝統と、移民がもたらした豊かな文化とが混じり合って、芸術分野に活気があります。映画、美術、演劇、舞踊、音楽など、あらゆる形式の視覚と舞台芸術に熱心な支持者がいます。

ある調査によると、成人オーストラリア人の 88 パーセントに当たる 1,300 万人近くが、毎年少なくとも 1 回は文化的なイベントか公演に参加しています。最も人気のある芸術分野への参加は映画で、全国民のほぼ 70 パーセントが見ています。26 パーセント以上がポピュラー音楽のコンサート、25 パーセントが美術館か博物館、19 パーセントがオペラかミュージカル、18 パーセントが演劇の公演、11 パーセントがダンス公演、そして 9 パーセントがクラシック音楽のコンサートに出かけています。

視覚芸術の芸術家は、オーストラリアのイメージ形成に大きな役割を果たしています。こうした芸術家には、先住民とトレス海峡島しょ民のアーティストから、ビクトリア州に拠点を置きオーストラリア固有の絵画を描こうとしたハイデルバーグ派の国粋主義的な画家たちや、Sidney Nolan、Arthur Boyd、Albert Tucker などのような象徴的シュールレアリズム (超現実主義) の画家、現代オーストラリアが直面している問題を反映している芸術家など幅広く含まれています。その他の著名なオーストラリアの芸術家には、John Brack、William Dobell、Russell Drysdale、Margaret Olley、John Olsen、Margaret Preston、Clifton Pugh、Jeffrey Smart、Brett Whiteley、Fred Williams などがいます。

オーストラリアには、先住オーストラリア人の口承物語に始まり、18 世紀末オーストラリアに到着した囚人たちの口伝えの物語に引き継がれた、強い文学的な伝統があります。1973 年に作家 Patrick White がノーベル文学賞を受賞。この分野でオーストラリアはノーベル文学賞を 1 つ持っています。オーストラリアの特色を非常に良く表現しているその他の作家には、Peter Carey、Bryce Courtenay、Kate Grenville、Elizabeth Jolley、Thomas Keneally、Christopher Koch、David Malouf、Colleen McCullough、Christina Stead、Morris West、Tim Winton などがいます。

スポーツ分野

オーストラリア人は、自らスポーツをすることも、観ることも、大好きです。

オーストラリアは、エリート選手のレベルで、しばしば素晴らしい成績を上げてきました。2004年にはアテネ・オリンピックで、メダルの獲得総数がアメリカ、中国、ロシアに次ぐ第4位でした。2006年のサッカー・ワールドカップでは、オーストラリアは決勝トーナメントに出場して、ベスト16位に入りました。オーストラリアは、クリケットでも世界のトップにランクされています。

しかし、オーストラリア人がスポーツを楽しんでいるのは、こうしたトップレベルだけではありません。最近の全国調査では、15歳以上のオーストラリア人のほぼ70パーセントに当たる1,100万人以上が、少なくとも週1回は、練習、レクリエーション、なんらかのスポーツなどのため身体を動かすことに参加しています。なかでも最も人気のあるトップ10は、ウォーキング、エアロビクス/フィットネス、水泳、サイクリング、テニス、ゴルフ、ランニング、プッシュウォーキング、フットボール（オーストラリアではサッカーと呼ばれることも多い）およびネットボール（バスケットボールに似た球技）です。その他で人気のあるスポーツには、オーストラリアン・フットボール（オージー・ルールズ）、ラグビー、ホッケー、バスケットボール、野球、オートレース、競馬、ヨット、スキー（雪上）などがあります。

オーストラリアで最も良く観られているスポーツには、そのルーツが初期のラグビーやアイルランドのゲーリックフットボールに遡り、オーストラリア独特のゲームになっているオーストラリアン・ルールズ・フットボール、ラグビーリーグ（ラグビーの1種で13人制）、ラグビーユニオン（通常日本ではこれがラグビーと呼ばれている）、クリケットなどが含まれます。メルボルンで開催されるオーストラリアン・オープン、テニスの世界4大イベントの1つです。オーストラリアには、120を超える全国的なスポーツ組織があり、州や地方には数千の団体があります。

オーストラリアの代表的な料理？

アジアやヨーロッパからの移民の影響、珍しい料理をすすんで食べる国民性、豊富に手に入る新鮮で高品質の材料などのお陰で、オーストラリアは世界でも多彩な料理の国の一つです。

世界で一番効率の高い農産物生産国に仲間入りしているオーストラリアは、高品質の野菜や果物、穀物、獣肉、鳥肉、海産物、チーズ、その他の酪農品を生産しています。さらにアジアの野菜、梨や桃などの果物、ライチ、オリーブ、ハーブなどを含む、エキゾチックな食べ物に対して興味を持ったオーストラリア人の味覚に応じて、多くの新しい産業が生まれました。アトランティック・サーモン、南マグロなどの養殖の魚が、オーストラリア周辺の海で獲れるモートン・ベイ・バグス（ロブスターの一種）、テンジク・クルマエビ（banana prawns）、バラマンディ（アカメ科の魚）、カキなどの様々な海産物と同様に手に入ります。

国内の多様な文化を反映して、レストランでも家庭でも、オーストラリア人は実に様々な食べ物を楽しんでいます。南欧の料理には、新しくアジアや太平洋地域の風味や嗜好が加わりました。イタリア、中国、インドネシア、日本、ギリシャ、タイ、マレーシア、フランス、ベトナムなどのレストランが、特に各州都に多く見られるようになりました。地元材料を使ったモロッコやレバノン風味の中東料理が、料理の主流に加わって成功しています。

伝統的なオーストラリア奥地の自然食（bush tucker）も、特に北部オーストラリアのレストランで一般に食べられるようになり、カンガルー、水牛、ワニ、エミューなどの肉もメニューに載ることが多くなりました。

歴史的に、典型的なオーストラリア料理と言われるものは、これまで何もありませんでした。その代わりに、オーストラリアの食べ物は、新しい文化が加わるごとにめたらされる特色のある風味と共に進化してきました。

海外から故郷へ帰ってきたオーストラリア人は、ラミントン（四角形のスポンジケーキをチョコレートに浸し、粉末ココナッツを振りかけたもの）やパブロバ（ロシアのバレエ・ダンサー アンナ・パブロワから名付けられたメレンゲケーキ）、ベジマイト（酵母から作られたサンドイッチやトーストに塗って食べるペースト）のようなオーストラリアの食べ物を懐かしいと感じています。

オーストラリアのワインは、こくのある赤や、フルーティな香り豊かな白、スパークリングワイン、デザートワイン、酒精強化ワインまで、どんな料理にも合う様々な高品質ワインを醸造していることで、国際的にも知られています。

法の遵守

オーストラリア地域社会での行為は、成文法と非公式な社会慣習の組み合わせで規制されています。

オーストラリアのすべての人たちは、国の法律に従わなければならないだけでなく、さもないと刑事や民事で訴訟される可能性があります。さらに人々は一般に、本来法的な拘束力はなくても、オーストラリアの社会慣習、風習やしきたりに従うものとされています。

重大な刑事上の犯罪には、殺人、暴行、性的暴行、小児性愛、人または財産に対する暴行、武装強盗、窃盗、自動車の危険運転、違法麻薬の所持または使用、詐欺、法的な承諾年齢（ニュー・サウス・ウェールズ州では16歳ですが、州によって異なる）に達していない若者との性的関係などが含まれています。

タバコの喫煙と飲酒は違法ではありませんが、公共の場所では多くの規制があります。18歳未満の者にアルコールやタバコ製品を販売したり、提供した者はすべて法に反しています。

動物の虐待や放置、刃物や銃などの凶器携行、ポイ捨て、水の汚染や無許可のごみ処理、過度の騒音なども違法です。オーストラリアに死刑はありません。

温暖な気候と気さくな国民性

オーストラリアでは、国土があまりにも広大なので、熱帯の季節風から、暑くて乾燥した気候や雪に至るまで、ほとんどの気象条件にあてはまります。しかし概して、気候は、特に海岸沿いの主要都市では、暖かくて温和です。

この比較的温暖な気候のお蔭で、人々は海岸や田舎、あるいはスポーツをしたり見たりして、長時間、屋外で過ごしています。

一般にオーストラリア人は社会的で外向的です。ほとんどの人たちが社交上でも、また知り合いや仕事仲間との関係でも形式張っていません。

職場や友人たちとの間では、オーストラリア人は通常お互いを名前（ファースト・ネーム）で呼び合います。しかしこの形式張らないやり方は、体の接触にまでは及んでいません。誰かと初めて会った時は、通常相手の右手を自分の右手で握手します。お互いに知らな

い人と会った時、普通はキスしたり抱きあったりはしません。

店や銀行、役所、映画館、その他多くの人々が同時にサービスを受けるために待たなければならない場合には、オーストラリア人は列を作ったり、並んだりします。一般にオーストラリア人は、サービスを受けたり、相手をしてもらう時には、自分の番が来るまで待ちます。会議や約束で時間を守ることは重要です。

衣服

人々が着る衣服は、オーストラリア社会の多様性と気候の変化を反映しています。着るものに何の規則も決まりはありませんが、オーストラリア人は働いている時には一定の衣服を着るものとされ、ほとんどの職場に服装基準があります。

働いている時以外は、着る物は個人の好みで、人々は快適さや時と場合、気候などに適した衣服を身に着けます。クラブや映画館、その他の場所では、きちんとした清潔な衣類を着て、適切な履物をはくことが求められます。

オーストラリアに公式な国の民族衣装はありません。

祝日と休日

オーストラリアでは、ほとんどの労働者に有給休暇のほかに、国または州の祝日が年間およそ12日あります：

正月： 毎年1月1日。オーストラリア人が最も一般的に有給休暇を取るのは12月中頃から1月末の間です。

クリスマスとイースター： キリスト教徒のカレンダーでも重要な2つの祝日です。クリスマスは毎年12月25日ですが、イースターは変動し、毎年3月後半から4月後半の間の週末になります。

ボクシング・デー： クリスマスの翌日で、この日も祝日です。

オーストラリア・デー： 1月26日で、1788年オーストラリアに最初のヨーロッパ人の植民地が開かれた日を祝います。

アンザック・デー： 4月25日で、第一次世界大戦中の1915年に、オーストラリアとニュージーランドの連合

オーストラリアの国民、文化、生活様式

軍 (Anzac) が、トルコのガリポリに上陸した日です。以来、この日は、オーストラリアのために戦った人たちや、戦争で命を失った人々を追悼する日になりました。国の休日で、記念の式典や献花、軍事パレードなどが行われます。

その他にも特定の州や特別地域でだけ祝われる (あるいはすべての州で祝われるが、日にちが違う)、全国的ではない多くの祝日があります。その中には、レーパー・デー (1日8時間労働制を獲得したのを記念して Eight-Hour Day とも呼ばれる) や、エリザベス女王の公式誕生日が含まれます。

メルボルン・カップ・デーは、毎年11月の第1火曜日で、メルボルン市では公休日です。メルボルン・カップは、オーストラリアですべての動きを止めてしまうような、世界的に有名な競馬です。数分間は、職場でも、学校でも、家庭でも、ほとんどの人々が手を休めてテレビでレースを観ます。

関連情報

司法省

www.ag.gov.au

オーストラリア連邦政府文化・レクリエーション関係のサイト

culture.gov.au

オーストラリア・スポーツ・コミッション

ausport.gov.au

オーストラリア連邦政府移住・市民権省

diac.gov.au

Last updated April 2008

Satellite imagery © Commonwealth of Australia, Geoscience Australia, ACRES.

Western Australia coastline.

